

令和6年度自己評価のまとめ

A:実践が進み、着実に成果を上げている。
B:実践に努め、徐々に成果を上げている。

C:実践に努めている。
D:努力を要する。

基準値＝2.5

・赤字は昨年度よりも低下した部分
・青字は昨年度よりも改善された部分

		評価						取組方法・改善 方策について
領域	教育目標・学校運営	A	B	C	D	平均点	昨年度	
1	教育目標は、学校や生徒の実態、地域等の要望を踏まえている。	0	15	1	0	2.9	3.1	
2	教育目標の達成に向けた校内体制は適切に組織されている。	1	13	2	0	2.9	2.4	特に、学年の体制は適切に組織されており、分担して業務を効率的に取り組めている。
3	教職員間、教職員と管理職間の対話が推進され、協働意識が形成されている。	1	15	0	0	3.1	2.3	教頭に相談しやすい雰囲気があるため、大変助かっている。業務に安心して取り組めるモチベーションにもつながっている。
領域	教育課程・学習指導(教育課程の状況)	A	B	C	D	平均点	平均点	
4	生徒の実態を踏まえ、能力適性に応じた学習指導に努めていた。	1	15	0	0	3.1	2.9	スタディサブリングリッシュを今年度より英語科で導入。各生徒の能力や授業の理解度を確認するために用いた。
5	基礎基本の学力向上を図り、きめ細やかな学習指導に努めていた。	0	14	2	0	2.9	2.9	
6	学ぶ意欲と興味関心を喚起する学習指導の工夫に努めていた。	1	13	2	0	2.9	2.7	Kahootの導入。生徒にも好感触である。
7	ICTを活用した質の高い効果的な学習支援に努めていた。	2	8	6	0	2.8	2.8	昨年度までと比較してICTを用いた授業展開も増えてきており、生徒の情報活用能力も向上している。 上記ツールの使用。
領域	進路指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
8	個に応じた計画的な進路指導により、自己実現できる進路指導に努めていた。	0	15	1	0	2.9	2.8	
9	生徒に目標設定させ、意欲の高揚を促す進路指導に努めていた。	0	15	1	0	2.9	2.9	
10	保護者と連携を図り適切な情報の提供や指導に努めていた。	1	11	4	0	2.8	2.8	
11	進路達成に向け、進学講習、資格取得、検定の実施に努めていた。	0	7	8	1	2.4	2.9	受講・受験する生徒が集まっていないので、方策を考える必要がある。
領域	生徒指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
12	社会に繋がる生活態度を身に付けさせるよう指導に努めていた。	1	13	2	1	2.8	2.2	
13	お互いを認め合う協調性と自主的活動を促す指導に努めていた。	0	16	0	0	3.0	2.8	
14	様々な組織との連携を図り、全校で効果的な指導に勤めていた。	0	16	0	0	3.0	2.7	
15	家庭や地域との関わりを深め、生徒の健全な育成に努めていた。	1	15	0	0	3.1	3.0	こまめに家庭への連絡をとったり、保健室やカウンセラーとの相談を促したりして対処していた。
16	教育相談体制を整備し、相談活動が積極的に行われている。	2	10	4	0	2.9	3.1	管理職、担任、養護教諭、町相談員等と細かな情報の共有。 定期的に面談をしたり、炉辺談話で話を聞き、見守りをしていた。
17	いじめの未然防止や発生時の対応は適切に行われている。	1	14	1	0	3.0	2.5	

領域	健康・安全指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
18	心身の健康意識を高揚させ健全な生活習慣の育成に努めていた。	0	13	3	0	2.8	2.9	
19	自他の人格と生命を尊重し安全意識と態度の育成に努めていた。	0	16	0	0	3.0	2.9	
20	各種の定期健康診断に基づき、調査と相談の充実に努めていた。	0	15	1	0	2.9	2.8	
21	生徒の自主活動による環境美化と保健意識の高揚に努めていた。	0	14	2	0	2.9	2.6	
22	校舎・校地の環境は適切に維持されている。	0	15	1	0	2.9	2.9	
領域	特別支援教育	A	B	C	D	平均点	平均点	
23	特別支援教育委員会が機能し、各学年等との連携が図られている。	1	13	3	1	2.8	3.0	機能していなかった場面もあったことから、他校さんのを参考にしつつ、改めて特別支援委員会の立ち位置を確認する必要があると思われる。配慮対象生徒に対するフォローがうまく機能していた。
24	生徒の実態把握が行われ、支援を必要とする生徒に、具体的な支援活動がされている。	1	13	2	0	2.9	3.0	

◆ 重点ポイントについての評価

(基準値＝2.5)

重点ポイント		A	B	C	D	平均点	平均点	
1	信頼され選ばれる学校づくり (学校便りや学校ホームページ等の広報活動の充実)	0	12	4	0	2.8	2.8	
2	組織運営 (アクションプラン：働き方改革の推進)	0	13	3	0	2.8	2.5	
3	学習指導 (ICTを活用した授業改善、校内研修の充実)	2	9	5	0	2.8	2.8	学習に活かすためのICT、校務運営を捗るための研修など十分にできており、学校として前進している。クラスルームの有効利用。アンケート等で利用することで業務の削減が大幅に行えた。
4	生徒指導 (生徒主体の活動の活性化)	0	14	2	0	2.9	2.8	
5	進路指導 (3年間を見通した組織的で計画的な進路指導の実施)	1	13	2	0	2.9	2.8	インターンシップや進路ガイダンス、説明会の参加等で、生徒の進路に対する意識が着実に醸成されている。
6	健康・安全指導 (SCとの情報共有や教育相談週間における面談等による生徒理解の深化)	0	15	1	0	2.9	2.9	